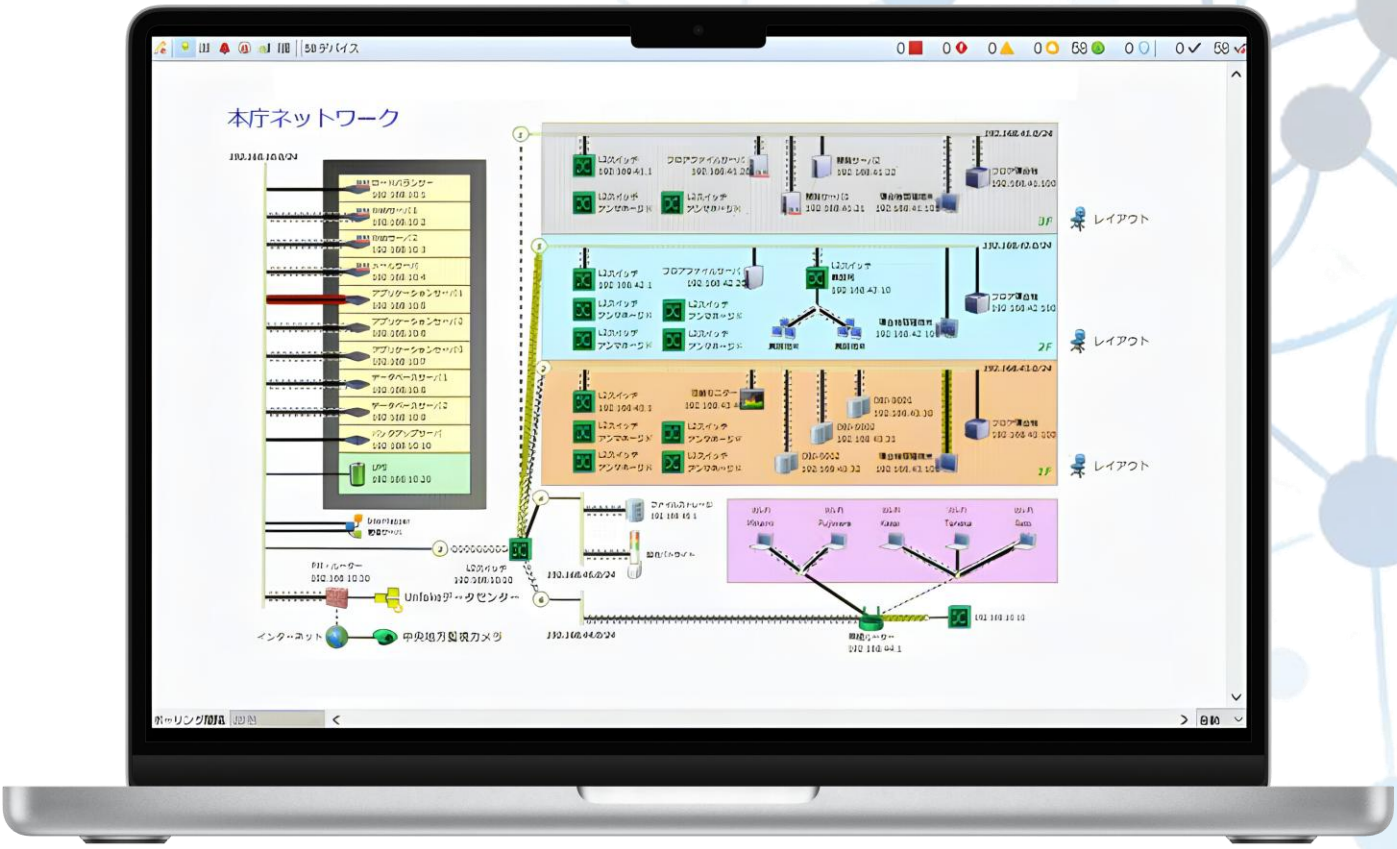
unfake

グラフィカルな監視マップで
ネットワークを見える化する

ネットワーク統合監視ソリューション

InterMapper



InterMapper システム要件

オペレーティングシステム	Windows 10/11 (64bit) Windows Server 2016/2019/2022/2025 MacOS X 10.15/11/12/13/14 (Intel x64 Only) MacOS 26 (Tahoe) RedHat 7/8/9/12/13 SuSE Linux Enterprise Server 12/15
メモリ	8GB以上（推奨：16GB）
ハードディスク	500GB以上（監視機器の台数により条件が異なります）
CPUプロセッサー	PCで動作させる場合：Core i3以上 サーバー上で動作させる場合：Two(2)Vitual CPU以上
最大構成	1サーバーで5,000台の機器まで監視可能
仮想サーバー	対応

InterMapper ソフトウェア性能仕様

ネットワーク自動検出	ネットワーク上の機器を自動的に検出し、監視マップを作成
ネットワークマップ	機器や接続状態をグラフィカルに表示し、サブマップによる階層表示にも対応
ネットワークトポロジー	スイッチングハブなどの接続関係を自動的に把握し、ネットワーク構成を可視化
死活監視	Ping/Echoによる応答確認で、機器やネットワークの稼働状態を監視
SNMP監視	SNMPを利用して、機器やインターフェースの状態や各種MIB情報を取得・監視（V1/V2c/V3）
トラフィック監視	インターフェース毎の通信量・帯域使用率・エラー・パケットロス等の監視
リソース監視	CPU使用率/メモリ使用率/機器内温度・ファン回転数等の監視
SNMP Trap監視	SNMP Trapを受信し、機器から通知されるイベントを監視
サービス監視	HTTP/HTTPS/SMTP/LDAPなどの各種サービスの応答状態を監視
ネットワークフロー解析	NetFlow/sFlow/JFlow/cFlowによる通信フローを収集・分析（オプション機能） （株）アンフェイク開発ツールUFExporterによるソフトウェア生成通信フローの分析にも対応
アラート・通知	障害や異常を検知し、デスクトップ通知/E-Mail/SNMP Trapなどで通知
カスタム監視	カスタムプローブ/プライベートMIB/OIDを利用し、監視項目を拡張
履歴・グラフ表示	収集した監視データを長期間保存し、時系列グラフで表示し、状態の推移を確認
レポート	収集した監視データから、ネットワークの状態や推移をレポート
Web UI	Webブラウザから監視マップや機器情報などを確認
リモートアクセス	InterMapper RemoteAccessを使用することで、離れた場所から監視マップへのアクセスが可能
ユーザー・アクセス権管理	マップ単位でユーザー/グループに対して、編集・閲覧などの各種アクセス権限を設定可能
ライセンス形態	監視機器（仮想環境）の1台につき1サーバーライセンス使用 1サーバーライセンスにつき、最小25ライセンス～最大5,000ライセンスまで 監視項目数は無制限に設定が可能

InterMapper をフル機能で30日間無償でお試しいただけます！

製品の操作性や機能を実際の環境でご体感いただける無償トライアルをご用意しております。
導入前の評価・検証および検証用の環境構築についても、ぜひご相談ください。

unfake

〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野8-3-3 センチュリーKIビル303

TEL　：042-702-0890
FAX　：042-702-0891
Email　：sks-sales@unfake.co.jp
URL　：https://solution.unfake.co.jp/

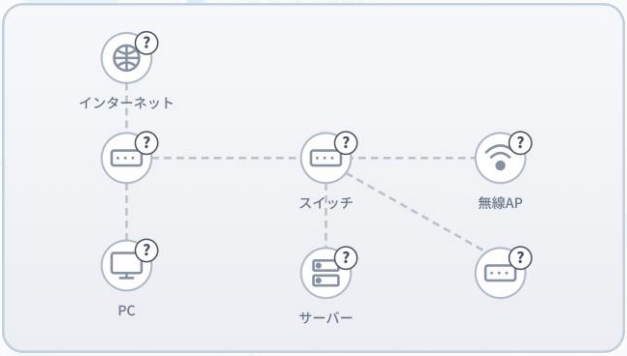
●アンフェイクのロゴ、UFExporterおよびUFImporterは、株式会社アンフェイクの登録商標または商標です。
●その他記載されている会社名、商品名・サービス名またはロゴマークは、各社の登録商標または商標です。
●InterMapper、InterMapper Flows、InterMapper RemoteAccessは、米Fortra社の登録商標または商標です。
●本文中に記載されている機能・サービス・内容および事項は予告なく変更となる可能性がございます。最新情報は、株式会社アンフェイク ソリューション特設サイトをご覧ください。

Copyright by © Unfake Co.,Ltd. All rights reserved.

現代社会のビジネスは、ネットワークなしでは成り立ちません

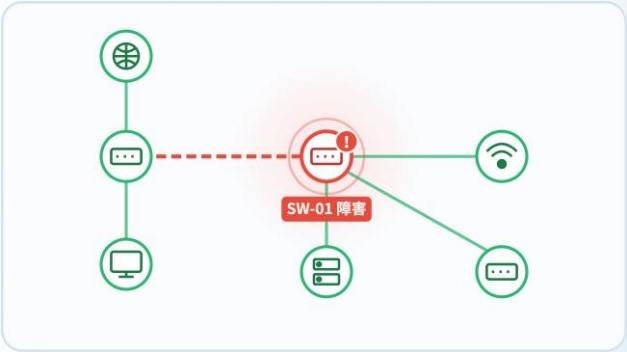
メールやクラウド、受発注システムなど----
今や多くの業務がネットワークを通じて動いています。
ひとたび通信に異常が起きれば、業務の遅延や停止に繋がることもあります。
だからこそ、ネットワークの状態を常に把握し、異常に気付ける仕組みが重要です。
安定した業務を支えるために、ネットワーク監視は欠かせません。

突然「つながらない」「遅い」といわれても・・・

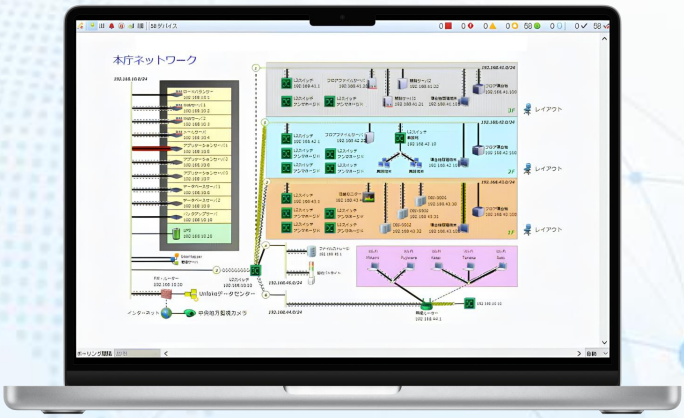


気づくのも、原因を探すのも“障害がおきてから”
調査に時間がかかり、復旧が後手に。業務への影響大

InterMapperで監視すれば異常に気づける・対応できる



異常に“すぐ気づき”、原因箇所も“すばやく特定“
早期対応・復旧につながり、業務への影響を最小限に



ネットワーク構成図を監視マップで表現可能
状態変化はアニメーションで通知

機器の接続を自動検出してトポロジーマップを生成。
色や動きで正常・警告・障害を表現し、
異常を検知するとアラートで管理者へ通知します。

01 ネットワークマップを、思いのままに

IPアドレスの範囲を指定した自動検出はもちろん、
機器の手動追加や自由配置にも対応。
まるで図面を描くように、
目的に合わせたネットワークマップを作成できます。

02 色と動きでネットワーク状態を可視化

機器の状態を「正常・警告・障害」の色で表示。
ネットワークの通信状況は線の動きで可視化し、
トラフィックがひっ迫すると
線の色が赤く変化します。

03 「中身」までしっかり監視

Ping/Echoによる死活監視に加え、
CPU・メモリ・通信量・温度など、
機器の内部状態まで詳細にチェック。
Probe機能で、機器の稼働状況を細かく把握できます。

04 大規模ネットワークも階層化でスッキリ

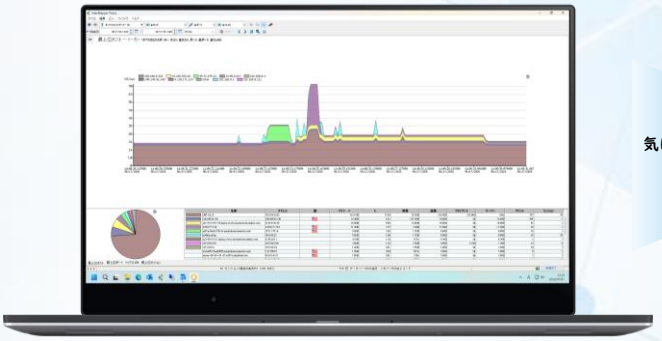
全社マップから「拠点」「フロア」「サーバー室」へ
ワンクリックでドリルダウン
複雑なネットワークも、
階層ごとに分かりやすく把握できます。

InterMapper Flows

ネットワークの流れる通信(ネットワークフロー）を詳しく分析し、「誰が・何の通信で」帯域を使っているかを見える化します。

最上位ホスト別（グラフ有）

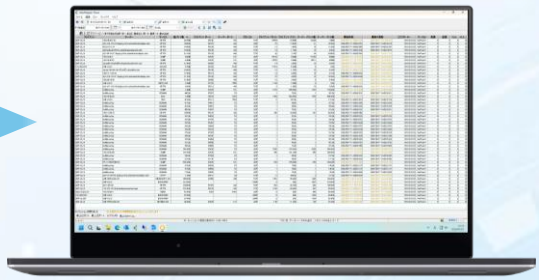
帯域を多く使う端末をランキングやグラフで把握



気になる端末・通信を
さらに深掘り

最上位セッション別

通信内容をセッション単位で詳しく確認



- ネットワークフローの全ての規格に準拠
  例）NetFlow/sFlow/Jflow/cFlow
- 通信量の多いホスト・セッションを可視化
  影響の大きい通信をすぐに把握
- プロトコル・VLANごとの内訳を表示し、
  帯域の使われ方を一目で確認
- 詳細なセッション追跡で、
  通信遅延や通信障害の原因特定を支援

UFExporter

Flow対応のハードウェアが無くてもFlowデータが生成可能

PC・サーバーのLANカードから通信状況を取得し、FlowデータとしてInterMapper Flowsへ連携。
Flow対応機器やミラーポートの設定に依存せず、既存環境を活かしたトラフィック分析を実現します。

InterMapper RemoteAccess

本社や各拠点のPCから、いつものネットワークマップを確認
複数の担当者で、ネットワークの状態をリアルタイムに共有

社内ネットワーク上のPCから、InterMapperへ接続することで、ネットワークマップを閲覧・操作することが可能です。
本社だけではなく、ネットワークで接続された各拠点の担当者からもリアルタイムでネットワークの状態を確認することができます。

自席から監視マップを確認・編集

デジタルサイネージに表示し、確認

Tips

InterMapperライセンスはインストールしたサーバーやPCに紐づきます

自社ネットワークの日常的な監視はもちろん、
InterMapperをインストールしたPCを各拠点へ持ち運び、
VPN接続されていない複数拠点のネットワーク確認や、
他社ネットワークの状態確認・調査など、
さまざまなシーンでご活用いただけます。

複数拠点のネットワーク確認

他社ネットワークの状態調査への活用